

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう(四年生で学習する漢字)

年 組 番 名前

次の 部ひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

問 題	答 え	もう一度、練習しよう
① ちよきんばし。		
② 町にビルがたつ。		
③ ふくりーだーになつた。		
④ まんぞくそうな顔。		
⑤ 版画をする。		
⑥ とくべつな料理。		
⑦ おずかしい話をはぶく。		
⑧ 水のかきをはかる。		
⑨ 人をすくう。		
⑩ 山々がつらなる。		
⑪ たん生日をいわう。		
⑫ あついお茶をのむ。		
⑬ 何度もこころみる。		
⑭ 茶わんがかける。		
⑮ 心をあらためる。		
⑯ きゆうようする。		
⑰ ゆかにおく。		
⑱ 本のいんさつ。		
⑲ 世界のこつき。		
⑳ めんせきを求める。		

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を正しく書こう(四年生)

年 組 番 名前

◆ヒント◆  
教科書の最後の方のページにある「新しく習った漢字」や「この本で習う漢字」「これまで習った漢字」などを見て、正しい漢字を確かめましょう。

次の 部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

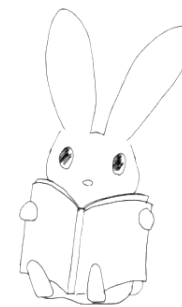
問 題	答 え	もう一度、練習しよう
① ちよきんばし。	貯金箱	
② 町にビルがたつ。	建(つ)	ビルや家などができることを書き表す時は、「建」を使います。「立」は、まっすぐたてになる、おきあがるなどの意味を書き表す時に使います。
③ ふくりーダーになった。	副	リーダーを助ける役目のことを書き表す時は「副」を使います。「福」は、幸せなことを書き表す時に使います。
④ まんぞくそうな顔。	満足	
⑤ 版画をする。	刷(る)	
⑥ とくべつな料理。	特別	
⑦ むずかしい話をはぶく。	省(く)	かさや重さを調べて知ることを書き表す時は「量」を使います。時間や数を調べて知る時は「計」を、広さ・高さ・長さ・深さなどを調べて知る時は「測」を使います。「測」は五年生で学習します。
⑧ 水のかさをはかる。	量(る)	
⑨ 人をすくう。	救(う)	
⑩ 山々がつらなる。	連(なる)	
⑪ たん生日をいわう。	祝(う)	お茶や水などの温度が高いことを書き表す時は「熱」を使います。気温が高いことを書き表す時は「暑」を使います。
⑫ あついお茶をのむ。	熱(い)	
⑬ 何度もこころみる。	試(みる)	じっさいにためしてみることを、「こころみる」といい、「試」を使います。「心」は、気持ちや思いを表します。
⑭ 茶わんがかける。	欠(ける)	ものの一部がこわれることを書き表す時は「欠」を使います。「書」は、文字をしるす時に使います。
⑮ 心をあらためる。	改(める)	
⑯ きゆうようする。	休養	
⑰ ゆかにおく。	置(く)	物がある場所へすえることを書き表す時は、「置」を使います。「億」は数の単位を表しています。また、「奥」は、深く入り込んだところをさす時に使います。五年生で学習します。
⑱ 世界のこつき。	印刷	
⑲ 世界のこつき。	国旗	
⑳ めんせきを求める。	面積	

# 漢字を読んだり、書いたりしよう①

年 組 番 名前

書きましよう。(1) (6) の 一 一 部の漢字の読みをひらがなで、-----部のひらがなを漢字で、それぞれでいねいに

図書係



## 図書係からのお知らせ

4年2組のみなさんへ

<sup>わたし</sup> 私たちが読んだおすすめの本をしょうかいします

● 『ベートーベン』 (作者: <sup>ひるまさつき</sup>比留間五月)

『シューベルト』 (作者: <sup>やながわそうぞう</sup>柳川創造)

\* <sup>(1)</sup> 作曲家のことを知ると、音楽にも親しみがもてますよ。

● 『ライフタイム いきものたちの一生と数字』

(作者: ローラ・M. シェーファー, ニール, クリストファー・サイラス)

\* 生き物と数字の <sup>(2)</sup> いが いな関係におどろかされますよ。

● 『からだのふしぎ』

(作者: にしもとおさむ)

\* 私たちが食べているものが、どのように <sup>(3)</sup> しょうか かされているのか

を知ることができますよ。

【ヒント】「いがい」という読み方の漢字はふく数あります。この場合「思いがけないこと」という意味の「いがい」を書きます。

【ヒント】「しょうか」という読み方の漢字はふく数あります。この場合「食べ物がえいようになる」という意味の「しょうか」を書きます。

<sup>ねが</sup> 係からのお願い

年間読書 <sup>(4)</sup> りょうの目標を <sup>(5)</sup> 達成した人がいます。すばらしいですね。

これからも本に、より <sup>(6)</sup> 親しみましよう。おすすめの本があったら、私たちにしょうかいしてください。

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)	(しみ)	(しみ)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

# 漢字を読んだり、書いたりしよう①

年 組 番 名前

(1) (6) の一―一部の漢字の読みをひらがなで、――部のひらがなを漢字で、それぞれでいねいに書きましょう。

図書係

## 図書係からのお知らせ



<sup>わたし</sup> 私たちが読んだおすすめの本をしょうかいします

- 『ベートーベン』 (作者：比留間五月)

『シューベルト』 (作 <sup>ひるまさつき</sup> ◆かいせつ◆作曲家は、「さくきょくか」とは読みません。「さっきょくか」とつまって発音します。

\* 作曲家のことを知ると、音楽にも親しみがもてますよ。  
(1)

- 『ライフタイム いきものた』

(作者：ローラ・M. シェーファー) ◆かいせつ◆  
【意外】は、思いがけないことを表します。  
【以外】は、それよりほかということを表します。

\* 生き物と数字の いがいな関係におどろかされますよ。  
(2)

- 『からだのふしぎ』

(作者：にしもとおさむ)

◆かいせつ◆  
【消化】は、食べ物がえいよになることを表します。  
【消火】は、火を消すことを表します。

\* 私たちが食べているものが、どのように しょうかされているのか  
(3) を知ることが出来ますよ。

<sup>ねが</sup> 係からのお願い

年間読書 りょうの目標を 達成した人がいます。すばらしいですね。  
(4) (5)

これからも本に、より 親しみましょう。おすすめの本があったら、私  
(6)

たちにしょうかいしてください。

(1)	さっきょくか
(2)	意外
(3)	消化
(4)	量
(5)	たっせい
(6)	した(しみ)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

漢字を読んだり、書いたりしよう②

年 組 番 名前

(1) (2) (3) (4) (5) (6) の 一 部 の 漢 字 の 読 み を ひ ら が な で、  
----- 部 の ひ ら が な を 漢 字 で、 それ ぞ れ て い ね い に

(1)	
(2)	
(3)	(える)
(4)	
(5)	(い)
(6)	

書きましよう。

4年生のみなさんへ

レクリエーション係

ドッジボール大会のお知らせ

1 日時 9月29日(金) 5・6限目<sup>げん</sup>

2 しゅうごう場所  
(1)

・運動場



3 ルールについて

・ゲーム中に、選手を かえることはできません。  
(2) (3)

・外野はなしで始めます。  
(4)

4 その他

・あつい日が続いています。水分ほきゅうができるように、お茶を  
(5) 持ってきてください。

・当日、天候が悪い場合は、10月にえんきします。  
(6)

・そう体操服を持ってきてください。

・しつ質問があったら、レクリエーション係に聞いてください。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

漢字を読んだり、書いたりしよう②

年 組 番 名前

(1)〜(6)の二一一部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれでいねいに書きましよう。

(1)	集合
(2)	せんしゅ
(3)	代(える)
(4)	がいや
(5)	暑(い)
(6)	てんこう

4年生のみなさんへ

レクリエーション係

ドッジボール大会のお知らせ

1 日時 9月29日(金) 5・6限目

2 しゅうごう場所  
(1)

・運動場



3 ルールについて

・ゲーム中に、選手を かえることはできません。  
(2) (3)

・外野はなしで始めます。  
(4)

4 その他

・あつい日が続いています。水分ほきゅうができるように、お茶を  
(5) 持ってきてください。

・当日、天候が悪い場合は、10月にえんきします。  
(6)

・体操服を持ってきてください。  
(そう)

・質問があったら、レクリエーション係に聞いてください。  
(し)

【ここをチェック】

□文章を読んで、漢字を正しく書いたり、読んだりできましたか。